

にしん ばん や 鯨番屋のスケッチ

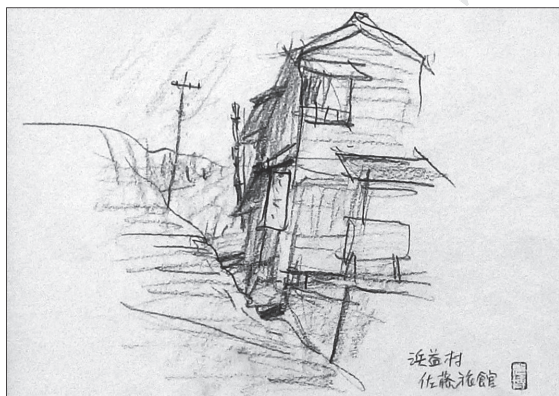
明けてましておめでとうござい
ます。今年も「いしかり博物誌」をよろ
しくお願いいたします。資料館では、
石狩市に関わる資料の収集を行って
います。昨年は特に貴重なものが多
い年でしたが、その中から浜益にまつ
わる絵画を紹介したいと思います。

寄贈を受けたのは浜益の建物のス
ケッチで、いずれも縦24・2cm、横33cm
の紙に鉛筆で描かれています。ひとつ
は「浜益鯨番屋」とタイトルが付いて
いるもの。これは市の指定文化財と
なっている旧白鳥家番屋（はまます
郷土資料館）です。もうひとつは「浜
益村佐藤旅館」とタイトルが付いて
いるものです。佐藤旅館は今もあり
ませんが、浜益区浜益（茂生）の市街
にあった旅館です。「浜益鯨番屋」
は、黒鉛筆で描いた後に色鉛筆で屋
根に赤色を加えられています。赤い
トタン屋根を表現したのでしょうか。手
前の石垣には黄緑の線が加えられて
いますが、これは生えていた草をあら
わしたのでしょうか。

描いたのは松田光博画伯
（1925年～2003年）で、昨
年秋にご遺族から「浜益にゆかりの
ある作品なので石狩市で活用しても
らいたい」と寄贈の申し出がありまし
た。松田画伯は絵画のほか彫刻作品

も多く残されましたが、中でも相撲
にまつわる絵画や彫刻を多く残しま
した。特に歴代横綱の肖像画が有名
です。残念ながら描かれた時期はよ
く分かっていませんが、松田画伯が浜
益を訪れた際に「浜益佐藤旅
館」と合わせて描かれたものと
推測されます。

この二点の絵画は、11日（土）か
らいしかり砂丘の風資料館で
開催する「テーマ展 資料館のお
宝2025」で展示します。お
宝展ではこのほかに花川の紅葉
山砂丘や高岡地区で発見され
た考古資料も展示します。そ



浜益村佐藤旅館



浜益鯨番屋



旧白鳥家番屋（はまます郷土資料館）

の中には縄文時代の完形土器や
大型のメノウ製ナイフなどもありま
すので、ぜひご来場ください。
（工藤義衛）

稲妻 雷五郎 像
制作過程と
作者
松田光博展
第19回企画展
平成11年
2月9日（火）～
3月21日（日）
東町立歴史民俗資料館
〒300-0708 茨城県水戸市八千石18-1 TEL.0299-79-3211

稲妻雷五郎展
ポスター



石狩市教育委員会 文化財課
工藤義衛 Tomoe Kudo

専門分野は考古学と風俗史。石狩
独特の文化を研究する一環で石
狩の食を代表する「石狩鍋」の歴
史やルーツについても調査を行う。

問文化財課 いしかり砂丘の風資料館 ☎62・3711 ※火曜休館